

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 30 日作成)

委員会名	空間研究小委員会	主 査 名：大野隆造
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岬生
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2003 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築・都市空間に関する研究にあたって、様々な調査方法や分析方法の有効性や可能性について広く他研究分野と比較を行いながら検討する。さらに、各種の空間やそれらに関連する事象を取り上げて、その意味について議論することを目的に、幅広い分野から講師を招き、研究会やシンポジウムを行う。そして、蓄積された活動や議論の成果を出版物として刊行して学会員に広く公表する。	
委員構成 (委員名(所属))	大野隆造(東京工業大学)、佐野友紀(早稲田大学)、橋本都子(千葉工業大学)、大佛俊泰(東京工業大学)、金子友美(昭和女子大学)、倉斗綾子(コクヨ(株))、郷田桃代(東京電気大学)、恒松良純(秋田工業高等専門学校)、積田洋(東京電気大学)、西出和彦(東京大学)、日色真帆(愛知淑徳大学)、福井通(神奈川大学)、松本直司(名古屋工業大学)、宮本文人(東京工業大学)、横田隆司(大阪大学)	
設置 WG (WG 名:目的)	出版 WG:空間研究小委員会の活動を通して蓄積された議論や資料の刊行企画 シンポジウム WG:幅広い分野から講師を招き、研究会・シンポジウムを行う	
2003 年度予算	円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 53 回研究会「要素から見た建築・都市空間の魅力」7 月 11 日・60 名 第 54 回研究会「継承された住空間：東アジアから」12 月 3 日・40 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>第 53 回研究会「要素から見た建築・都市空間の魅力」は『空間要素』刊行記念シンポジウムとして開催した。体験された空間の特徴について適切に記述し伝達するためのキーワードを探しながら、とらえづらい空間の魅力に迫ろうとするものである。パネリストに建築家を加えて建築・都市空間の魅力について活発な議論が展開された。</p> <p>第 54 回研究会「継承された住空間：東アジアから」は、東アジアにある多様な居住空間の環境や文化を現代日本の居住空間と比較しながら、東アジアの居住空間について研究を重ねてきた研究者に集まっただき、伝統的な空間デザインと、それを継承した新しい動きについて議論した。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の活動計画としては、建築や都市計画における、内部・外部を含めた空間研究に関する新しい研究視点や手法について、多様な角度から他分野からの講師を含めた広い視点で研究会を企画・開催して、広く会員に公表することを委員会活動の目的としていた。上記の通り、2 回の研究会開催や出版物の刊行により、当委員会の活動成果は概ね目的に達しているものと考えられる。</p>
その他評価すべき事項	特になし